

# 中国株式:新指導部のもと経済の改革・開放は継続見通し

## Insights from UBS Asset Management

### ポイント

- 中国共産党大会後、習近平体制が3期目に入り、指導部が刷新。経済政策では、社会主義市場経済のもとで**高いレベルの改革・開放を継続**する方針。
- 民間企業への**規制は緩和の兆し**。
- 日米欧の企業との比較では、中国企業の**ファンダメンタルズは良好**を維持。**バリュエーションは低位**。

### 【改革・開放政策は継続】

- 共産党大会では、これまでの党の政策を振り返り、「小康社会(ややゆとりのある社会)」を実現したこと、今後2035年に向けて社会主義現代化を実現するという目標などが報告されました。
- 経済については、高いレベルの改革・開放を堅持し、内需と外需のバランスのとれた双循環による経済成長を目指すとされています。また、経済成長のスピードよりも質を重視する方針が示され、ハイテク分野などで発展を強化する方針です。中間所得層を拡大し、2035年までの1人当たりGDPを中進国レベルに成長させる目標も掲げています。
- コロナ政策については、香港では防疫措置が緩和されており、今後は中国全土での規制緩和が期待されます。また、大手ネット企業に対する締め付けも緩和の兆しが見られ、事業環境は改善すると見られています。

### 【新指導部の顔ぶれ】

- 3期目の習近平体制で刷新された指導部では、習氏との関係が近いとされる人物が多数を占めました。年末に向けて開催予定の中央経済工作会議などで今後の具体的な政策が注目されます。

### 【図表①】新指導部の政治局常務委員

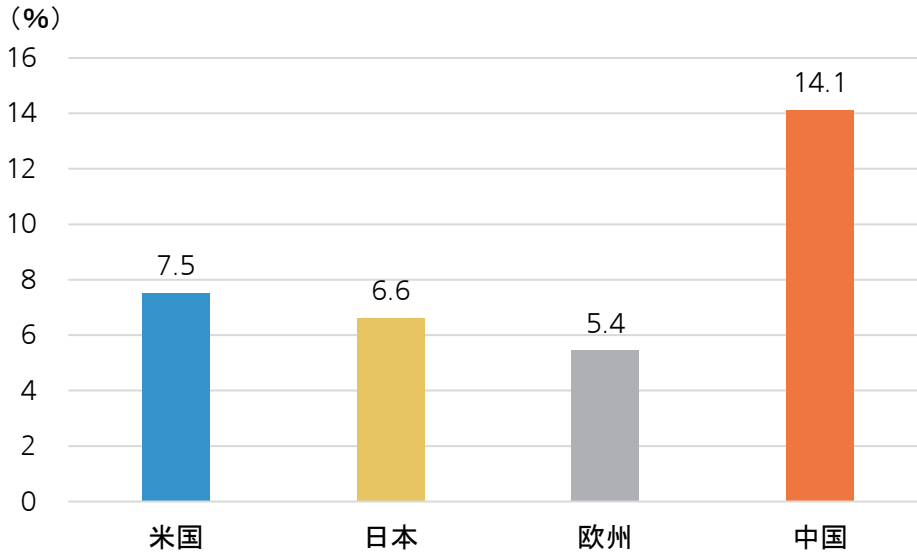
氏名	肩書(※は就任見通し)	主な経歴など
習近平 (シー・ジンピン)	党総書記	父は毛沢東の戦友だった習仲勳。父の失脚に伴い陝西省の農村部で労働者として勤務。清華大学工学部卒、同人文社会学院卒、法学博士。党総書記3期目で長期政権へ。
李強 (リー・チャン)	首相※	浙江省出身。中央党学校卒。浙江省共産党委員会副書記、江蘇省共産党委員会書記などを経て17年から上海市共産党委員会書記。習派。
趙樂際 (ジャオ・ルオージー)	全国人民代表大会常務委員長※	陝西省出身。中央党学校卒。青海省共産党委員会書記、陝西省共産党委員会書記などを経て17年から政治局常務委員。習派。
王滬寧 (ワン・フーニン)	全国政治協商会議主席※	山東省出身。復旦大学卒。94年に同大学法学部長に就任。「戦狼外交」を提唱。江沢民から習氏まで3代の総書記に仕え、「三代帝師」の異名を持つ。無派閥。
蔡奇 (ツイ・チー)	党中央書記処書記	福建省出身。福建師範大学卒。浙江省杭州市共産党委員会副書記を経て、17年北京市共産党委員会書記。22年北京冬季五輪の組織委員会主席。習派。
丁薛祥 (ディン・シュエシアン)	副首相※	江蘇省出身。復旦大学卒。東北重型機械学院でエンジニアリングを学んだ技術者。上海市共産党委員会秘書長などを経て13年に国家主席弁公室主任。習派。
李希 (リー・シー)	党中央規律検査委員会書記	甘肅省出身。西北師範大学卒。上海市共産党委員会副書記、遼寧省共産党委員会書記などを経て広東省共産党委員会書記。習派。

(ご参考)

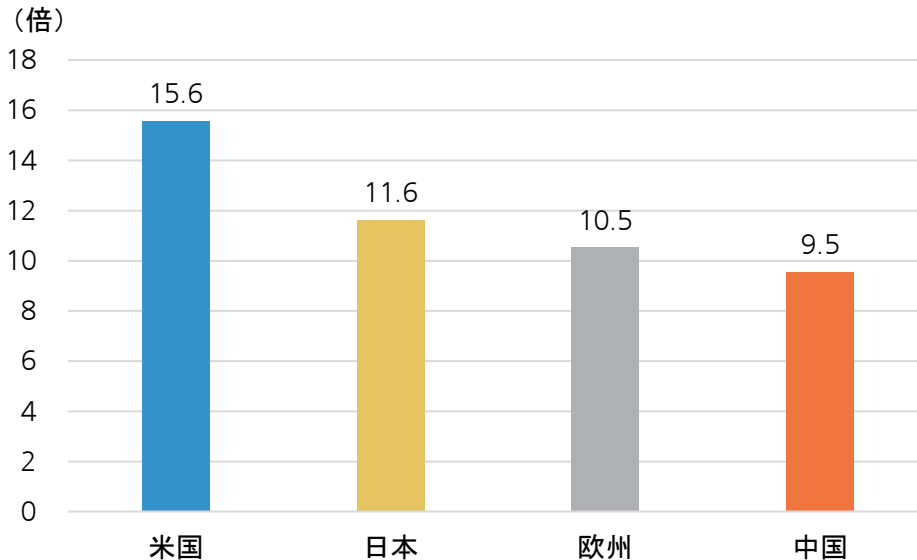
- 中国株式は図表②に見られるように、主要国・地域と比較して、足元では予想利益成長率は高く、予想PERは低い状況で、投資魅力が高まっており、今後、株価が見直される余地が大きいと考えられます。

【図表②】予想EPS成長率、予想PER(2022年9月末)

【予想EPS成長率】



【予想PER】



出所:リフィニティブ、各種情報より当社作成。予想EPS成長率と予想PERはMSCI指数ベース。上記のデータは過去のもの及び予想であり、将来の動向を示唆、保証するものではありません。

商号:UBSアセット・マネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第412号

加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

本資料は、情報提供を目的としたものであり、特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。本資料は、信頼できると判断される情報をもとにUBSアセット・マネジメント株式会社によって作成されておりますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。本資料に記載されている内容・数値・図表・意見・予測等は、本資料作成時点のものであり、将来の市場動向、運用成果等を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。

© UBS 2022. キーシボル及びUBSの各標章は、UBSの登録又は未登録商標です。UBSは全ての権利を留保します。